

令和4年度 清瀬市「命の教育」フォーラム

清瀬市立小中学校では、「教育総合計画マスタープラン」の方向性9「豊かな心と撓（しな）やかで強（した）かな心の育成」に係る取組として、「命の教育」を行っております。

「命の教育」とは、生きていることに喜びを見出し、自らの生命を大切にするとともに、他者の生命も同様に尊重する心を育む教育です。

学校では、各教科の学習や行事などの教育活動全体で取り組む道德教育を軸に「命の教育」に取り組んでいます。特に、「生命の尊さ」や「よりよく生きる喜び」、「相互理解、寛容」、「様々な文化の理解」等について考え、これからの社会を生きる上で大切となる自他の生命を尊重する心や人権感覚などを育むことを目指しています。子供たちは、授業の中で様々なことを感じながら、「自己を見つめる」、「物事を多面的・多角的に考える」、「自己の生き方についての考えを深める」ことを大事にして取り組んでいます。

先日、こうした「命の教育」の取組や成果を紹介する「命の教育フォーラム」を開催しました。

感染症対策を講じる中での3年ぶりの開催でしたが、地域の皆様をはじめ、学校関係者も含めてたくさんの方にご来場いただきました。

「命の教育フォーラム」

令和5年1月28日（土）午後2時から午後4時30分まで
清瀬駅北口アミュービル7階 アミューホールにて開催

第1部 「生命の尊さ」をテーマとした講演会

講師 国立看護大学校 准教授 渡邊 香 先生

第2部 清瀬市立小・中学校の取組発表

前半 清瀬小学校の先生方による今年度の実践と
児童の発表（動画）を紹介

後半 市立中学校5校の生徒会による「各校のSDGs達成に向けた取組」
についての各校の報告及び公開協議（コーディネート校 清瀬中学校）



～当日アンケートの感想から～

- いのちの大切さを改めて感じるきっかけになりました。一方で、11秒に1人の妊婦や赤ちゃんが亡くなることは、大人でも衝撃的でありました。（保護者）
- 命をあたたく感じる講演でした。命の誕生を学ぶ教材は、受精の頃から子宮と共に成長する様子が分かって、手に乗せたり抱いたりしたくなる、優しいものでした。（学校教職員）
- 小学生の取組は、純粋で豊かな感性を生かしたもので、貴重な体験になっていると思いました。（保護者）
- 各中学校で様々な活動をしていることが分かりとてもよかったです。更に他校との意見交換を通して、より広く深く考え、中学生から発信していた姿がとても頼もしかったです。（保護者）
- コロナ禍でも先生方や子供たちが話し合い、協力しながら、前向きに学校生活を送っている様子が伝わりました。先生方のご指導、サポート、本当にありがとうございました。（保護者）

